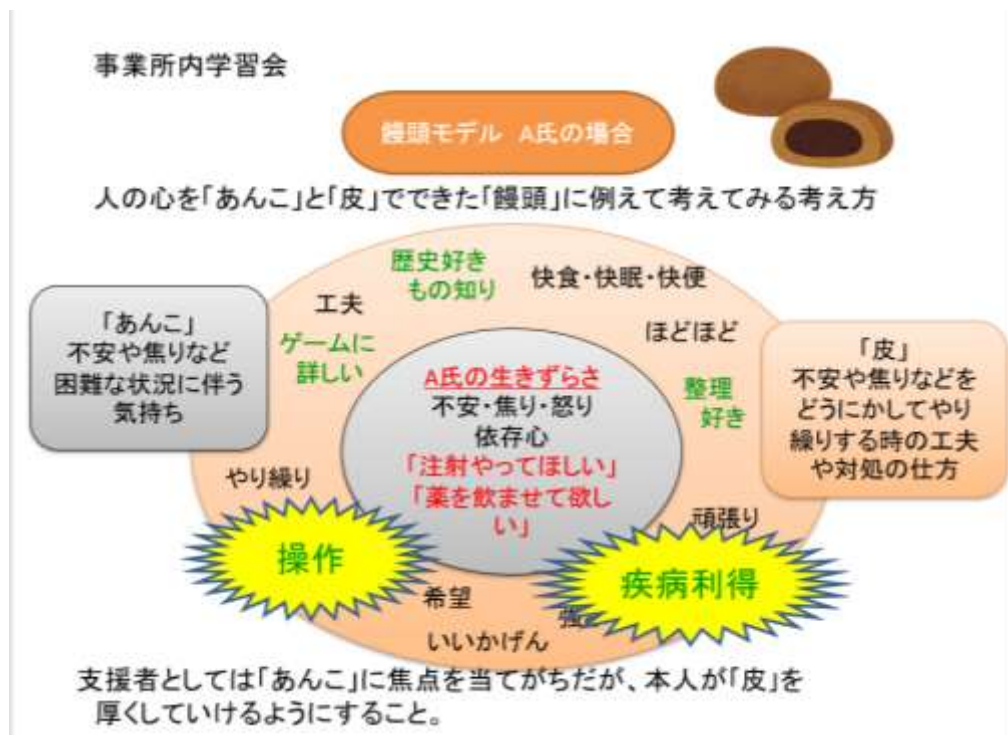


テーマは精神科事例「依存からの脱却」～自暴自棄だった利用者が社会とつながるために～

今回の学び「まんじゅう理論」をご紹介します！！

「あんこ」という生きずらさではなく、それをなんとか出さずにもちこたえている「皮」=ストレングスの部分に焦点をあて、皮を厚くしていけるように支援をするスタイルです。利用者と看護師の関係の再構築をはかり、緊急携帯にかかってきていたコールは激減し、自己注射もできるようになりました。



事例をまとめた看護師Hさん(1年半前に精神科分野から入職)は「身体看護を中心に担ってきた皆さん(看護師)とどう折り合っていたらいいか悩んだこともあったが、真剣に耳を傾けてもらえてきらきらしていると感じた。利用者さんが生まれ変わったのは、これまでのみんなの支援の厚さ・深さがあったからフィットしたのだと思う。みんなを尊敬できる」

看護師Aさん「自分がどう利用者さんと頑張っていきたいのかを自分自身で考えてきたい」

1年間精神看護を学習課題とし取組み、実践をとおしてその関わりを振り返ったことが視点を高める機会となりました。

2020年度は、理論に裏付けられた看護をテーマに学びを深め、実践につなげたいと思います。失敗敗もあるでしょうが、恐れず前に進んでいきます！！



★勤医会訪問看護事業部では一緒に働く看護師さん・セラピストさんを募集しています。未経験の方も育成プログラムにそって支援します。詳しくは採用のページをごらんください★